

# 白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで  
健やかに生きる児童の育成

令和7年度  
No.31  
東海村立白方  
小学校  
2025.12.5  
児童数452人

12月に入り朝晩の冷え込みが増して来ております。そのような中でも、登校時にさわやかな挨拶の声が響きわたっています。寒い朝も挨拶の声が響き渡ること、活力がみなぎって参ります。今年度は「日本一あいさつが響きわたる学校」の言葉を学校では繰り返し話しながら、挨拶がさわやかにできる学校を目指しております。ご家庭におかれましても、「おはようございます。」「行ってきます。」「ただいま。」「お帰りなさい。」といった挨拶ができた際には認め励みとなる言葉をかけていただければ幸いに存じます。

## 森林・林業体験

～ 木材の香りが心地よい体験でした。 ～

11月26日（水）に6年生が水戸市森林公園で丸太切り体験や木製本立てを作る体験をしました。まず、到着後に開会行事を行い、その後森林公園内にある植物園で、「森づくり」について説明をお伺いしました。そして紅葉が美しい森の自然散策を行いました。昼食後に、班毎に丸太切り体験と木製本立て作りの体験を行いました。丸太を切る際には、おが屑から醸し出される気持ちやすらぐ、木の香りに包まれました。森林の役割のご講話、自然散策や自分で木材を加工する体験を通して、自然の恩恵の大きさを実感することができました。



## 東海村に古くからあるもの

～ 歴史と未来の交流館の学芸員さん方に見せていただきました。 ～

11月14日（金）に3年生が歴史と未来の交流館の学芸員さん方に、社会科の学習の一環とし

て、東海村に古くからあるものについてお話ししていただきました。まず、土の中に古くからあるものとして、化石を紹介していただきました。東海村の最も古い地層は1,100万年前に堆積した地層で、その中から出土した貝や鉄の成分が固まった高師小僧（たかしこぞう）と呼ばれる生成物を見せていただきました。また、時代は150年前～80年前になりますが、人々が使っていた火鉢や教科書の実物、学校の様子や藁葺き屋根の家と囲炉裏を使っていた様子の写真などを見せていただきました。東海村には1,100万年前にできた大地があること、100年ぐらい前の生活は今とはだいぶ違っていただたことを知ることができました。



## サッカー教室

～ 専門のインストラクターの方の支援を受けミニゲームを楽しみました。 ～

10月24日（金）・11月25日（火）に5年生と6年生が専門のインストラクターの方にサッカーのパスやドリブルの仕方を教えていただき、ミニゲームを楽しみました。インストラクターの方から、パスをする際に大切なことや、トラップを足元で素早く正確に止めるコツなどを教えていただきました。その後、チーム分けをして、準備していただいた専用のミニゴールを使って、ミニゲームを楽しみました。ミニゲームではボールを複数使って、決められた時間内にどちらのチームがゴールを多く決めるかを競い合いました。インストラクターの方がミニゲームに入り、とても俊敏な動きでドリブル、パスをする姿にみんな感嘆の声をあげていました。

